

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	44	加齢に伴い摂食量や水分摂取量が低下している利用者が見受けられる。利用者それぞれの食べたい食事が明確でなく、食べ残しなど食品ロスに繋がっている。	それぞれの嗜好やお好みの食事量に合った食事の提案を行い、適切な量を提供する。お食事を楽しんで頂く為、和気あいあいとした雰囲気の醸造を図り、健康状態の維持を図る。	ビュッフェ形式やバイキング形式の食事を提案し、楽しくたくさん召し上がって頂く（昼食時、週2回の提案）。和気あいあいとした雰囲気づくりを演出し利用者同士の親睦を深め楽しく召し上がって頂く。	12ヶ月
2	23	利用者一人一人と関わる機会を大切にしたい。	職員が利用者のストレスや心理状況を理解して関わる事ができる。	高齢者の自立支援や生きがいに関する職員の知識の向上をはかる。 介護に関する知識や技術の標準化を図る。 事務作業を減らし利用者に関わる時間を増やす。 書類、事務、作業時間を最小限に抑えるため、可能なものは一元化する。	12ヶ月
3	26	ケアプランがより具体的になり、職員がプランを見て支援できるような手順書となるものにしたい。	ケアプランがもっと簡潔に実行可能な計画となっている。	今立てている利用者のニーズを1段階、2段階落として考え、より利用者のニーズに即した計画を立てる。 計画の頻度などをあやふやに書かず、5W1Hで書き、職員がプランを見て支援できるように作成する。	12ヶ月
4	53	コロナ禍において感染予防を鑑み、外出の頻度が低下している。また、加齢に伴う身体機能の低下もあり、外出支援が滞っている利用者もおられる。	大掛かりな外出支援でなくとも、近隣の散歩、庭園やテラスを使用した日光浴など、利用者の身体能力に合った外出支援を提案し、季節感を感じて頂くとともに日々の暮らしに活気を取り戻したい。	近隣の散歩や買物、庭園やテラスでの日光浴等、利用者の嗜好と身体能力に合わせた外出支援を少なくとも週一回は提供する。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。